

それでは、順番4、4番 森下さん。

〔4番（森下伸吾君）登壇〕

○4番（森下伸吾君）それでは、ただいま議長のお許しをいただきましたので、通告に従い一般質問を行わせていただきます。

今回の一般質問、1項目めとしまして、防犯カメラつき自動販売機の設置についてお聞きいたします。

日本は犯罪率の低い国と言われていますが、それでも日々各地でさまざまな犯罪、事件が起きております。何げない日常の生活圏内で、いつ、どんな犯罪が発生するかわかりません。

そんな中、防犯対策の一つとして、防犯カメラの設置が挙げられます。防犯カメラの設置については、犯罪の未然防止、また、犯罪が起こった際の速やかな認知や犯罪捜査、そして、客観的証拠の収集などで有効な手段とされており、子ども、市民の安全を守る万全の態勢を整える観点からも、防犯カメラのさらなる拡充が必要と考えます。

ただ、防犯カメラの設置となれば、高額な設置費用にあたるイニシャルコストとランニングコストが問題となります。他の自治体の防犯カメラの設置状況を見ますと、例えば、大阪市では独自の取り組みを進めており、公園の防犯カメラの設置台数が飛び抜けて高くなっています。これは自動販売機の隣に防犯カメラが設置されており、防犯カメラ作動中の表示もされているからであります。

大阪市では自動販売機設置業者が防犯カメラの設置費用や電気代を負担する公募方式となっており、契約は最長で10年まで延長することができ、初期投資を事業者が回収しやすくなっています。これにより、大阪市は防犯カメラの設置のイニシャルコストとランニングコス

トをゼロにしています。

さらには、行政財産の目的外使用料として、1台当たり年間平均5万7,000円の収入を得ており、平成30年度実績では、税負担なしで防犯カメラの設置ができ、なおかつ自主財源の確保も進み、防犯対策もできるという3拍子そろった取り組みが進められております。

本市におきましても、同様の方式が導入できれば、市民、事業者においてもメリットのある事業であると思います。通学路における見守り空白地帯の一部もカバーできます。ぜひ、本市での導入を検討すべきではないでしょうか。当局の考えをお伺いいたします。

次に、2項目めとしまして、ねりんピック紀の国わかやま2019についてお聞きいたします。

令和元年11月9日から12日にかけて、第32回全国健康福祉祭和歌山大会、ねりんピック紀の国わかやま2019が開催され、本市ではソフトバレーボールとゴルフが開催されます。

この大会は、全国から和歌山県へ延べ約1万人の高齢者の方々が、選手あるいは役員、また、観客として、各種スポーツ競技や文化交流大会に参加する大規模な大会として開催されます。

そこで、お伺いする。本市として、どれだけ準備が進んでいるのか、当局にお伺いいたします。

1、本市として、どのような体制で、どのような取り組みをしているのか。

2、他県で開催された状況では、全国規模で行われる国体等と同じように、大会を盛り上げるための歓迎イベントや、選手、関係者、観客に対し、おもてなしなどを積極的に行っている中、本市ではどのような運営を予定しているのか。

3、全国健康福祉祭は、スポーツ、文化交流などの総合的な祭典であり、1人でも多くの高齢者に参画してもらうために、どのように機運を高めていこうとしているのか。

以上、私の壇上からの1回目の質問といたします。

○議長（土井裕美子君）4番 森下さんの質問項目1、防犯カメラつき自動販売機設置に対する答弁を求めます。

総務部長。

〔総務部長（小原秀紀君）登壇〕

○総務部長（小原秀紀君）防犯カメラつき自動販売機の設置についてお答えします。

現在、本市において、市民が安全で安心できる快適な生活環境を実現するとともに、プライバシーその他の市民の権利を保護することを目的とした橋本市交通・防犯カメラの設置及び管理運用要綱を定め、橋本、御幸辻駅前駐輪場をはじめ、市役所前交差点や主要な通学路の交差点など17箇所、28台の防犯カメラ、また、公共施設内の防犯カメラを含めると、23箇所、56台を設置し、警察など捜査機関からの要請に対し記録画像の提供を行うなど、地域の防犯、犯罪抑止につながっていると考えています。

一方、現在、本市で設置しています自動販売機は15台で、本庁をはじめ保健福祉センターや一部地区公民館など公共施設内への設置となっています。設置事業者については、一般事業者分7台、NPO法人分8台分を公募により選定し、施設使用料や電気代の負担を求め、一般事業者については販売手数料を徴収しているところです。

清涼飲料水自動販売機設置については、本来、設置事業者が事前調査を行い、設置に見合う売り上げが見込めるかどうかを判断し応札するものであり、市が望む設置場所で公募しても応募がない場合も考えられます。

ご提示いただきました、大阪市が実施した都

市公園への防犯カメラつき清涼飲料水自動販売機設置事業者の公募結果を見ますと、申込者が少なく、不調に終わった物件も見受けられません。また、売り上げが見込める場所の設置については、近くに民間の事業者が既に設置していることが多く、民業圧迫にも配慮が必要と考えます。

このことから、大阪市のように都市公園や希望する場所にこの防犯カメラつき清涼飲料水自動販売機の設置は、非常に難しいのではないかと考えています。

○議長（土井裕美子君）4番 森下さん、再質問ありますか。

4番 森下さん。

○4番（森下伸吾君）ありがとうございます。

それでは、ご答弁をいただきましたので、再質問をさせていただきたいと思えます。

防犯カメラつき自動販売機ではございますが、私の考えとしましては、まず一に、自動販売機を設置してもらいたいということではなくて、防犯カメラを増やしてもらいたいということですが、防犯カメラにつきましては、これまでも多くの議員がこの場で一般質問をさせていただいています。そのたびに、やはり財政難という理由で断念せざるを得なかったというのが今までであります。財政難でもできることはないだろうか、そういう方法として、今回、防犯カメラつき自動販売機を提案させていただいております。

まず、その話を進めるにあたりまして、橋本市はこれからも防犯カメラを増やすべきかどうか、そこをまず確認させていただきたいと思えます。その点、いかがでしょうか。

○議長（土井裕美子君）総合政策部長。

○総合政策部長（上田力也君）いろいろ、近年のいろんな、防犯であるとか、あるいは交通安全の予防というような状況を踏まえまると、やはりこれからも増えていくべきであろうと。

ただ、その場合、公共がそれを担う場合もあるでしょうけども、やはり民間の事業者であるとか、あるいは個人、こういったところに協力をいただくと。そして、なるべく多いほうがいいと思いますので、そういう方向にあるというふうに思っております。

○議長（土井裕美子君）4番 森下さん。

○4番（森下伸吾君）ありがとうございます。

増やしたいけど、やはりなかなか財政難で厳しいということではございますので、だからやめるのかということであれば、やはりそうではないと思いますので、厳しいながら、やはり知恵を絞って防犯カメラを増やしていく努力をしていきたいと。その一つとして、今回の防犯カメラつき自動販売機もその一つではないかというふうに思います。

先ほどのご答弁の中にもありましたように、私も大阪市の例を挙げさせていただきましたが、不調に終わっているというお話でございました。

ここで少し資料を見ていただければと思います。画面のほうを見ていただければと思いますが、これは先ほどの大阪市の公募結果であります。実際に3件、この場合は公募をされております。見ますと、1件が設置されておりますが、あと2件が不調ということでございます。

ただ、やはりこれを見ますと、大阪市ですので、設置台数が各それ1箇所33台とか22台とか53台とかいう形のたくさんの台数を設置しなければならぬ条件となっております。こうなりますと、やはり手を挙げる業者としても負担が大きい分、なかなか手を挙げてくれるところもないのではないかなというふうに思います。

これも別の応募であります。これも26台とか19台とか34台とかという形で、公園の設置ですが、これも1件だけが契約されておるという状態です。

一方、これは和泉市の同じ公共施設の自動販

売機の公募型プロポーザルの結果であります。6台設置する中で、これは5件の業者が提案をしてきて、その中で1件が契約になったということでございます。

このように、やはりたくさんであればなかなか難しい中で、橋本市もやはりそうですけど、そんなにたくさん設置するところもないということになれば、少ない台数であれば橋本市でも公募することは可能ではないかと思うんですが、その点、いかがでしょうか。

○議長（土井裕美子君）総務部長。

○総務部長（小原秀紀君）台数的に多い場合に、事業者のほうも取り組んでくれるのではないかというようなおたかしですけれども、先ほども言いましたように、公共施設に置いている自動販売機自体が全体で15台というふうなこともありますし、それを増やすとなると、やはりその施設にそういう自動販売機を置くのがいいのかどうか、事業者サイドで利益が見込めるかどうかというような点もありますので、全体を一くくりにして、例えば15台を一括してというようなことも考えられるんですけども、やはり個別に、施設自体が違いますので、個別に判断する必要があると考えますので、大阪市のよう公園で一くくりというような形ではなかなかしにくい部分がありますので、本市ではそういったやり方は難しいのではないかなというふうに考えます。

○議長（土井裕美子君）4番 森下さん。

○4番（森下伸吾君）そのとおりだと思います。一くくりでするのはなしに、1件1件ばらばらにやるのであれば可能ではないかなと思うんです。手を挙げる業者も増えるのではないかな。1箇所15台とか20台一気にやってもらうのはなかなか難しいのではないかなというふうに思いますので、個別にやればいいんじゃないかなというふうに思います。

業者としてはやはり、自動販売機を設置する

にしては利益を求めるところもあると思います。そういった中で、実際には利益を求めずに設置をされている自治体もごございます。

またちょっと資料を見ていただければと思うんですが、業者と企業とが協定を結んで設置されている場合もあります。

これは小郡市のところでありますが、このようにNPO法人与市が協定を結びまして設置をさせてもらっているということでもあります。防犯カメラシステム支援自動販売機という形で、このように設置をしております。ここにも書いていますが、市はコストをかけずに市内に防犯カメラを設置することができるメリットもあれば、社会貢献もNPOとしてできるということでもあります。

こちらはつくばみらい市というところでもあります。その広報であります、つくばみらい市とコカ・コーライーストジャパンとの協定によって、駅前に防犯カメラつき自動販売機1台が設置されたということでもあります。その後、今後この業者は年内に25台、今後3年間で100台の設置を予定しており、本市の安心安全なまちづくりのご協力いただいておりますということでもあります。

さらには、綾部市でも同じように、市と警察とコカ・コーラボトラーズジャパンとの協定によって、このように設置をされております。防犯カメラで綾部の安全を見守り中というふうにも書かれております。

さらには、天理市でも同じように、市とコカ・コーラウエストと警察との3者による協定によって設置されているということでもあります。

最後に、これは奈良県平群町でも同じように、コカ・コーラボトラーズジャパンと市と警察が3者によって設置をしているということでもあります。

このように、販売手数料をもらうのではなし

に、安心安全のために業者と提携して、防犯カメラの設置の台数を増やしていくということも一つの方法ではないかなと思います。

そういった面で、これからも防犯カメラの設置を増やしていきたいというのであれば、この平群町みたいに、そういった先進地と連携をしながら、どうやったら設置できるかというのを本気になってあたっていただければと思うんですが、その点はいかがでしょうか。

○議長（土井裕美子君）総務部長。

○総務部長（小原秀紀君）防犯カメラを増やしていくという点からいいますと、先ほどからも申しておりますとおり、イニシャルコストをかけずに、維持管理も自動販売機の設置者がしてくれるということは非常に効果的だとは思いますが。

ただ、そういった事業者がいるかという点と、それと、施設の管理者、各施設によって管理者が違いますけれども、その管理者がそこに防犯カメラつきの自動販売機を置くことを求めているのか、それと、そこで効果が生まれるのか等、いろいろ課題がありますので、仮にそういった事業者が橋本市に申し出てくださいますと、ここにつけたいんやというようなお話がありましたら、それは当然、協議はさせていただきますけれども、なかなか今の橋本市の現状からすると難しいのかなというふうには思います。

○議長（土井裕美子君）4番 森下さん。

○4番（森下伸吾君）やはり業者からの提案を待っているというのはなかなか難しいと思いますので、やはりこういった、ほかの先進地事例もありますので、そういった業者にこちらから問いかけていくのも一つの手でしょうし、そういった先進地に問い合わせをしていただくというのも一つの手ではないかなというふうに思います。

さらに、設置できるかどうかということも、やはりそういう場所があるかということであり



ってはどうかというような提案を受けたときに、それを聞いた職員は、うちみたいな松阪市では手を挙げてくれる業者はありませんよというふうな形を言ったんですが、市長としては、まずはやってみないとわからないじゃないかと。やってみてだめやったらやめたらいいんだということで応募をかけてみれば、実際に応募してくれたということがありました。松阪市でも今、ネーミングライツの場所が何件かございます。

市長も正月の仕事はじめ式でも、職員からいろいろ提案をしてこいというようなお話をされておられましたので、やはりそういった提案をどんどんしていただいて、それが実現していけば、橋本市としても職場としてもさらに活気づくと思いますし、橋本市としても安心安全なまちにつながっていくと思いますので、それが市民のためになっていくと思うので、どうかこれからもそういった面で挑戦していく市役所であってほしいということを希望しまして、一つ目の質問を終わりたいと思います。

○議長（土井裕美子君）次に、質問項目2、ねんりんピック紀の国わかやま2019に対する答弁を求めます。

健康福祉務部長。

〔健康福祉部長（吉田健司君）登壇〕

○健康福祉部長（吉田健司君）ねんりんピック紀の国わかやま2019についてお答えします。

ねんりんピックの愛称で呼ばれています全国健康福祉祭は、高齢者を中心としたスポーツ、文化、福祉の総合的な祭典であり、厚生省創立50周年である昭和63年から毎年、各都道府県の持ち回りにより開催され、本年11月に第32回大会を和歌山県で開催します。

大会名称は第32回全国健康福祉祭和歌山大会、愛称はねんりんピック紀の国わかやま2019、主催は厚生労働省、開催地の和歌山県、一般社団法人長寿社会センターで、共催はスポーツ庁

となっています。開催期間は11月9日から12日までの4日間で、選手、役員、観客を含めると、延べ約40万人の来県を見込んでいます。

今回は和歌山県内21市町で27種目の交流大会が開催され、本市ではゴルフ、ソフトバレーボールの2種目を開催し、本市からは23名の方が和歌山県代表として出場する予定です。

一点目の、本市としての体制及び取り組みですが、昨年4月、いきいき長寿課内にねんりんピック推進係を設置し、昨年5月に橋本市実行委員会を設立し、開催準備を進めてまいりましたが、昨年12月にはソフトバレーボール交流大会のリハーサル大会を開催し、その後も大会運営の充実に向け、各競技団体と調整を重ねております。

また、市内各種イベントにおいて、啓発グッズの配布やねんりんピックダンスの披露等を行い、啓発に努めているところです。

二点目の、歓迎イベントや選手、関係者、観客に対してのおもてなしですが、交流大会会場には市内小・中学校の児童生徒が作成した応援のぼり旗を設置し、大会出場選手をお迎えします。

また、会場内にはふるまいコーナーを設置し、富有柿や柿の葉寿司など橋本市の特産品を無料で提供します。そのほか、参加記念品として橋本市の特産品を詰め合わせた橋本市特産品セットをつくり、大会出場選手に配布します。

また、ソフトバレーボール交流大会では、11月9日に県立橋本体育館で開催される開会式において、小学生によるチアリーディングの披露を行い、大会の目標の一つである世代を超えた交流の場となるよう計画しています。

三点目の、大会への機運を高めるための方法ですが、ねんりんピックの参加資格が60歳以上となっていることから、市老人クラブ連合会のイベントでの啓発のほか、健康福祉部3課合同によるねんりんピック開催1年前イベントと

して「つながれ いきいき 健康フェスタ」を開催するなど周知を行うとともに、市広報やホームページも活用し、これまでの啓発活動の様子なども掲載しています。また、大会運営をお手伝いいただく市民ボランティアの募集も行ったところ、定員を超える方に登録していただき、大変ありがたく思っています。

一方、9月28日には交流大会会場に設置する400基のプランターの植え込みイベントを企画し、直接会場に来られない方もイベントに参加することで大会を盛り上げていただき、市民同士の交流の場としてもつなげていきたいと考えています。

本市に来られた選手の皆さまには、橋本市に来てよかった、また橋本市に来たいと思ってもらえるよう、真心のこもったおもてなしで迎えることができるよう、最後の準備を進めていきたいと考えていますので、ご支援、ご協力をよろしくお願いします。

○議長（土井裕美子君）4番 森下さん、再質問ありますか。

4番 森下さん。

○4番（森下伸吾君）ありがとうございます。それでは、再質問をさせていただきます。

いよいよこのねりんピック紀の国わかやま2019の開会まで61日となってまいりました。せっかく全国からこの橋本市にやってきていただくわけなので、先ほども答弁にありましたように、橋本市に来てよかったと、また橋本市に来たいと思ってもらえるようなおもてなしをしていただきたいと思います。今回質問をさせていただいたんですが、考えておった以上に、いろいろと準備を進めていただきまして、その辺はありがたく、安心しておりますが、少し気になったところを再質問させていただきたいと思えます。

橋本市ではソフトバレーボールとゴルフが行われますが、この2競技でこの橋本市に来て

いただく方がどれだけいるのか、その予想がわかれば教えていただけますでしょうか。

○議長（土井裕美子君）健康福祉部長。

○健康福祉部長（吉田健司君）お答えします。

今現在、決まっているところで、もう選手もほとんど決まっているんですけども、ゴルフで男性の参加者が158名、女性が13名、合計で171名。ソフトバレーボールで男性が254名、これは監督等も含むということです。女性が236名、合計で490名。あと、来場者等で予想しているのが、ゴルフで1日約30名、ソフトバレーボールで3日間で約200名ぐらいを予定しております。

以上です。

○議長（土井裕美子君）4番 森下さん。

○4番（森下伸吾君）となりますと、やはり、この大会の間に1,000人前後の方がいらっしゃる、やはり市としても大きな大会であるということでございます。

特に、ソフトバレーボールにおきましては3日間の開催期間でありますから、やはり宿泊もしていただくことになると思います。そうすると、国体でもありましたが、宿泊場所は大丈夫なのかというような疑問も起こりますが、その点はいかがでしょうか。

○議長（土井裕美子君）健康福祉部長。

○健康福祉部長（吉田健司君）大方の方が旅行会社を通じて、というか、旅行会社がホテルを押さえているみたいなんですけども、今、調査したところでは、ゴルフではルートイン橋本が90名、ルートイン大阪和泉と思うんですけども、36名、ソフトバレーボールで紀伊見荘が59名、それから、橿原のほうの旧のロイヤルホテルのほうですけども、196名、それから、高野山の宿坊のほうで約150名という数字が出てきております。

以上です。

○議長（土井裕美子君）4番 森下さん。

○4番（森下伸吾君）ありがとうございます。

それだけの方も泊まっていたきまして、ルートインに關しましては現在稼働率も高いということで、本市にももう少し宿泊施設があればなというふうなことも思いますが、それはまた違う機会にお話をしたいと思いますが、今回の大会に合わせて、昨年12月にソフトバレーボールのリハーサル大会も行われておりました。私も行ってありますが、いろいろと反省点もございまして、改善されてきていると思います。その点のことがございましたら、反省点とか改善点があれば、またお聞かせいただきたいと思います。いかがでしょうか。

○議長（土井裕美子君）健康福祉部長。

○健康福祉部長（吉田健司君）去年のソフトバレーボールのリハーサルには私も行かさせていただいて、議員も来ていただいたということで、なかなか、大勢の方のトーナメントということで、集計から始まり、コンピュータ関係で集計していくみたいですけども、その辺がうまくいっていなくてということで、その辺については、去年、富山のほうでも視察に行かさせていただいて、しっかり改善していきたいと思っております。

それと、ソフトバレーボールと関係ないんですけども、ゴルフのほうでも、これも短い時間内に順位をつけなければいけないので、これもコンピュータ管理が非常に、富山のほうでも大分トラブルがあったみたいなので、それも参考にして、開会からスタート、それから表彰までスムーズにいけるように、今、考えております。

○議長（土井裕美子君）4番 森下さん。

○4番（森下伸吾君）ありがとうございます。そういった改善点を踏まえながら運営面も万全を期していただければというふうに思います。

さらには、先ほどの答弁の中でも、おもてなしですか、会場でふるまいコーナーを設置して、

おもてなし、そういった特産品を無料で提供するとかいうお話もございました。

ねりんピックの選手の方々というのは、役員の方もそうですが、どちらかというと年配の方が多いですから、やはりお土産を買って帰りたいという方もたくさんいらっしゃると思います。そういった方の対応というのは考えていらっしゃいますか。

○議長（土井裕美子君）健康福祉部長。

○健康福祉部長（吉田健司君）先ほど答弁でもさせていただいたように、ふるまいコーナーとか、それから、今言いましたように、結構、高齢者の方はお土産を買っていってくださるので、それを期待しまして、橋本市の物産とかその辺を会場内に展示して、販売していく予定にしております。これについては、シティセールス推進課のほうと連携して、調整会議ももう何回も行っております。

それと、会場内の設置ですけども、これについても、DMOのほうで会場の設置についてはやっていただけるということで、これについても今、調整会議を行っているところです。

以上です。

○議長（土井裕美子君）4番 森下さん。

○4番（森下伸吾君）その辺、シティセールス推進課と連携をとりながらということでございましたので、特にこの辺を重視したいというところがございましたら、経済推進部長、もしございましたら、お聞かせいただけますでしょうか。

○議長（土井裕美子君）経済推進部長。

○経済推進部長（北岡慶久君）特に、高齢者の方というのが先ほど来の話の中で購買力が高いというふうに聞かせていただいています。

そんな中で、シーズ的には、柿はもちろんのこと、さまざまな物品を準備できる時期だと思いますので、これを機会に、また家族と一緒に橋本市に来ていただけるように、あるいは、

橋本市にはこういう、柿を含めたすばらしいものがあるということを全国に発信していただけるように、連携を深めて取り組みたいと思います。

○議長（土井裕美子君）4番 森下さん。

○4番（森下伸吾君）この辺、橋本市のアピールの絶好の機会の一つやと捉えて、その点もお願いしたいと思います。

3番目のところで、ボランティアの募集も現在、定員を超える応募があったということで、本当にありがたいことではありますが、国体のときと同様に、やはりこの辺は、ボランティアもそうですし、市の職員たちの応援も必要だと思います。その点も市として応援体制がとられているのか、その辺いかがでしょうか。

○議長（土井裕美子君）健康福祉部長。

○健康福祉部長（吉田健司君）市の職員のほうも、募集ではないんですけど、希望をとらせていただいて、全ての配置については終わっております。これについては、国体のときに一度やってありましたので、それと同じような形で配

置をさせていただいて、ゴルフのところについては約30名の配置を考えています。それから、統括のところでは6名、それから、あとソフトバレーボールのところでは3日間で1日約56名ずつの配置を考えております。

以上です。

○議長（土井裕美子君）4番 森下さん。

○4番（森下伸吾君）ありがとうございます。

そういった形でいろんな方の、役員の方もそうですし、いろんな方のお力を借りて、着々と準備を進めてもらっていると思いますので、我々としましても、応援できる場所はしっかりと応援させていただいて、この大会が成功に終わるように希望いたしまして、私の一般質問を終わりたいと思います。

○議長（土井裕美子君）4番 森下さんの一般質問は終わりました。

この際、1時55分まで休憩いたします。

（午後1時40分 休憩）